

北海道南幌高等学校だより



南高不惑

校訓 「自主 自律」

北海道南幌高等学校

☎069-0238

南幌町元町3丁目2番1号

TEL:011-378-2248 FAX:011-378-2629

<http://www.nanporo.hokkaido-c.ed.jp>

■ かわいい子には旅をさせよ。

校長 矢橋 佳之

いよいよ明日は卒業式。ついに旅立ちのときを迎えます。卒業生とは3年間関わらせていただきました。コロナ禍のなかでの3年間とはいえ、いろいろなことを体験してもらい、いろいろなことを伝えてきたつもりですが、やはり手を離す段階に来て、大丈夫だろうか…と心配する気持ちもあります。

1月14日(土)の朝日新聞「はぐくむ」欄に青山学院大学陸上競技部 原晋監督のインタビュー記事が掲載されていました。

指導者が考えた練習メニューに選手を『従わせる』場面が多いが、それでは人は育たない。『伝えるべきは伝え、あとは自分で考えて実行』させ、きちんと自分の考えで動けることを大事にしている。また、『かわいい子こそ挫折をさせるべき』と考え、選手たちには『もっと挫折をしよう』と伝えている。周りの大人が失敗しないよう、すべてに手を差し伸べていたら、子どもたちは『何か失敗したら怒られるんじゃないか』と気にしてしまう。『こうしたい』という自分の気持ちをもって活動できる人間の方が『世の中を変える』力があるはずだ

古くから「かわいい子には旅をさせよ」という言葉があります。未完成な若者に外の世界を体験させてくれることが成長につながるという意味でしょう。旅に出て試されるのは、若者だけでなく、関わる大人なのかもしれません。どうしても、つい手助けしてみたくなったり、口出ししてみたくなったりします。

手助けして失敗しなければ安心できますが、それでは若者は成長しない。不安は続いたとしても、失敗した時に立ち上がれるよう手を差し伸べる準備をしておいて、信じて待つことができるかが試されるのではないのでしょうか。

人生を旅だとすると、生徒と私たちは旅先で出会った旅人同士みたいなものです。途中まで

は一緒に旅することもできるでしょう。ですが若者には若者の旅があり、私には私の旅があります。いずれ別れなければなりません。

私たちができることは、どこへ行けばどんな素晴らしい景色やおいしい食べ物があるのか、困ったときはどうすればいいのかなどを伝えて彼らの旅を応援することだけかもしれません。

大人が手出し、口出しをすることで、若者の挑戦する機会を奪ってしまうことは成長の阻害要因となってしまいます。そう考えると、本当の意味で大人が提供すべき“やさしさ”はすべてのリスクを取り払い、なんでもやってあげることではなく、将来困らないようにするためにちょっとがんばれば越えられるようなハードルを与え続け、挑戦を後押ししていくことなのかもしれません。

現代は先行き不透明なVUCA（ブーカ）時代だなどとも言われています。

今までの正解が必ずしも正解とはならない可能性があります。そもそも正解が1つとは限らないのかもしれません。

そんな時代の中で、生徒諸君の旅を見送ります。私たちもそんな時代を旅していきます。

どのような変化が起きるかわからない時代だというのは、私たちもつまづき、もがきながら旅を続けなければならないのでしょう。

11月の閉校記念講演会で田中賢介氏が、挑戦の成否をもって評価するのではなく、挑戦したという事実を「Nice Try!」と認めることが重要だと語ってくださいました。

今年の卒業式は生徒全員が成人であるという初めての状態で行われます。

お互いに「Nice Try!」を続けて、それぞれの旅を楽しみ、「Nice Trip」にしていきたいですね。

またどこかの旅先で出会ったときは、楽しかったことも、つらかったことも笑って共有できることを願っています。旅の途中で連絡が取りなくなったら、いつでも待っています。

令和4年度 学校評価【生徒・保護者】アンケートについて

学校評価アンケートの結果を掲載します。毎年、対象者が変わりますし、今年度は対象人数が約1/3に減少しています。昨年度比に一喜一憂して終わらせるのではなく、年度末反省会議にて状況の分析を行いました。その結果は、学校評議員会議でも検証いただきました。

○ 顕著に（0.3以上）平均点が上昇した項目	【生徒】 3, 6	【保護者】 4, 5, 6, 7, 8, 9, 13, 14
○ 特に評価の高かった項目（3.7以上）	【生徒】 1, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 14	【保護者】 1, 3, 4, 6, 7, 8, 9, 12, 13, 14, 15
○ 顕著に（0.3以上）平均点が下降した項目	【生徒】 2	【保護者】 な し
○ 比較的評価の低かった項目（3.3未満）	【生徒】 な し	【保護者】 な し

○各評価項目のA, B, C, D, Eの数値については、回答数のパーセント表示です。

○それぞれの数値の下段（網掛け部分）は昨年度のデータです。

○平均点については、**4点満点**として、次の基準を回答数に乗じて算出した数値です。

A [そう思う] 4点	B [どちらかといえばそう思う] 3点
C [どちらかといえばそう思わない] 2点	D [そう思わない] 1点
E [わからない] 除外	

1 生徒アンケート

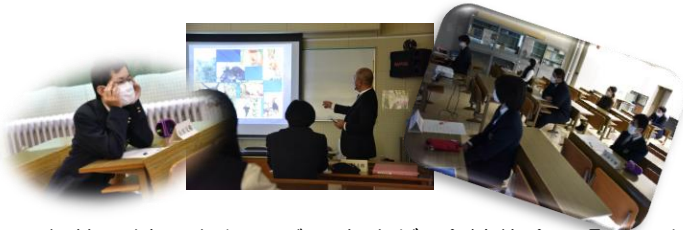
	評 価 項 目	A	B	C	D	E	平均点
1	先生方は、わかりやすい、ていねいな授業を行っている。	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	3.7
		63.2	31.6	0.0	5.3	0.0	3.5
2	学校の授業について、中学校の時より理解できている。	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	3.3
		57.9	31.6	5.3	0.0	5.3	3.6
3	先生方は自主的に学習するよう指導している。	50.0	33.3	0.0	0.0	16.7	3.6
		47.4	36.8	10.5	5.3	0.0	3.3
4	先生方は身だしなみを整え、生活ルールを守るよう指導をしている。	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	3.5
		68.4	31.6	0.0	0.0	0.0	3.7
5	先生方はあいさつなどのコミュニケーション能力を高める指導をしている。	33.3	50.0	0.0	0.0	16.7	3.4
		52.6	42.1	0.0	0.0	5.3	3.6
6	先生方は個人面談などをとおして、いろいろな相談に対応している。	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	3.7
		52.6	31.6	5.3	5.3	5.3	3.4
7	先生方は進路に関する資料や情報を十分に提供している。	83.3	16.7	0.0	0.0	0.0	3.8
		57.9	31.6	5.3	0.0	5.3	3.6
8	先生方は親身になって進路相談に対応している。	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	3.7
		73.7	15.8	0.0	5.3	5.3	3.7
9	先生方は進路実現に向けて熱心に指導している。	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	3.7
		68.4	21.1	5.3	0.0	5.3	3.7
10	〔未加入の場合回答不要〕部活動において、顧問の先生は熱心に指導している。	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	3.8
		60.0	30.0	10.0	0.0	0.0	3.5
11	先生方は学校行事や生徒会行事を生徒のために工夫して行っている。	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	3.7
		63.2	31.6	5.3	0.0	0.0	3.6

12	先生方は自然災害等への防災の意識を高めるよう指導している。	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	3.7
		68.4	26.3	5.3	0.0	0.0	3.6
13	先生方は交通安全に関する指導など命の大切さを指導している。	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	3.5
		68.4	26.3	5.3	0.0	0.0	3.6
14	校舎や施設に関して、支障なく問題はない。	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	3.7
		36.8	52.6	10.5	0.0	0.0	3.3
15	南幌高校に入学してよかったと思う。	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	3.5
		57.9	26.3	5.3	0.0	10.5	3.6

2 保護者アンケートの結果

	評 価 項 目	A	B	C	D	E	平均点
1	本校は家庭や地域との連携を深め、地域に開かれた信頼される学校づくりを推進している。	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0	3.8
		80.0	20.0	0.0	0.0	0.0	3.8
2	先生方の授業は、基礎・基本を重視している。	60.0	40.0	0.0	0.0	0.0	3.6
		53.3	46.7	0.0	0.0	0.0	3.5
3	先生方は、生徒の意欲を喚起している。	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0	3.8
		80.0	13.3	0.0	6.7	0.0	3.7
4	先生方は生徒が自主的に学習するよう指導している。	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0	3.8
		33.3	33.3	6.7	0.0	26.7	3.4
5	授業において、お子様は学習内容について理解している。	40.0	60.0	0.0	0.0	0.0	3.4
		13.3	73.3	6.7	0.0	6.7	3.1
6	先生方はお子様に基本的な生活習慣を身に付けさせるよう取り組んでいる。	80.0	0.0	0.0	0.0	20.0	4.0
		40.0	33.3	0.0	13.3	13.3	3.2
7	先生方は個人面談を行うなど、個々の生徒を理解するよう取り組んでいる。	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0
		53.3	26.7	0.0	6.7	13.3	3.5
8	先生方は進路に関する資料や情報を適切にお子様や保護者へ提供している。	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0
		53.3	40.0	0.0	6.7	0.0	3.4
9	先生方はお子様の進路実現に向けて親身になって指導している。	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0
		80.0	13.3	0.0	6.7	0.0	3.7
10	先生方は望ましい勤労観・職業観を身に付けるようしっかりと指導している。	60.0	40.0	0.0	0.0	0.0	3.6
		46.7	40.0	0.0	6.7	6.7	3.4
11	〔未加入の場合回答不要〕部活動において、担当の先生方は熱心に指導している。	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	3.6
		66.7	16.7	16.7	0.0	0.0	3.5
12	お子様は充実した高校生活を送っている。	60.0	20.0	0.0	0.0	20.0	3.8
		66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	3.7
13	先生方は防災教育について日頃から危機管理意識を高める指導をしている。	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0	3.8
		40.0	60.0	0.0	0.0	0.0	3.4
14	本校は地域や保護者に対してホームページや「南高不落(学校だより)」「PTAだより」「学年通信」等で積極的に情報公開に努めている。	80.0	0.0	0.0	0.0	20.0	4.0
		60.0	40.0	0.0	0.0	0.0	3.6
15	お子様を南幌高校に入学させてよかったと思う。	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0	3.8
		80.0	20.0	0.0	0.0	0.0	3.8

全校集会で「命の大切さ」について学びました。



冬休み前にさかのぼりますが、全校集会で「命の大切さ」について学びました。私たちは何気なく生活していますが、私たちが生きるためには多くの命が犠牲になっていること、世界の国々には、明日の命も保障されていない子どもたちがいること、同じ時間に繰り広げられている「命」の動きについて学び、私たちの「命の使い方」や「命のつなぎ方」について考える時間となりました。

いよいよ最後の卒業式 最後の一瞬まで輝き続けるために！

いよいよ「最後の卒業式」を迎える日になりました。明日3月1日（水）がその日になります。この一年間最後の南高生6名は、「少ない人数だからできない」という事ではなく、「少ない人数だからこそできる」という考えのもと、たくさんの活動を行い、たくさんの成長を遂げてきました。南幌町の方々ははじめ多くの方々のあたたかい思いをいただき成長し、輝き続けた最後の南高生6名の門出を是非一緒に祝っていただけたら幸いです。

**卒業式 3/1(水) 8:20～受付
9:00～卒業式
(一般の方も当日受付でご参加いただけます)**

最後の校舎見学会・離任式を行います！

南幌高校は令和5年3月31日（金）をもって64年の歴史を閉じることになります。ここまで多くの方々の思いが詰まったこの校舎にも、この後は入る事ができなくなります。そこで、最後の校舎見学会と離任式を3月27日15時よりに行います。是非思いの詰まった校舎の見学にお越し下さい。詳しくは本校HPよりご案内します。

本校HPのURLはこちら↓
<http://www.nanporo.hokkaido-c.ed.jp/>

私の一冊

Vol.25 教諭
水野寛之

「新世界より」 講談社（貴志祐介 著）

多様性の尊重が叫ばれて久しいものの、必ずしも他者を無条件に受け入れる人ばかりではないのが現状です。受け入れないどころか存在自体を認めないという考えの人もいます。多数派は少数派を排除して、我こそは正義を遂行していると自負します。そして正義の遂行という御旗を掲げて自身の言動を正当化すると、何かしらの快感、高揚感を得られるのか、その言動はときに過激に、暴力的になったりもします。もはやそこに相手の事情をくみ取る余地はなく、むしろ正してやっているのだから感謝されこそすれ、批難される謂われはないと言わんばかり。そこに集団心理も相まって歯止めが効かなくなり、悲劇へと繋がっていきます。

本書は、人類が呪力という超能力を持った後の世界を描いています。登場人物は自分達の行為の正当性を疑うことなく、強大な超能力を使って敵対するバケネズミの勢力を駆逐していきます。しかし後に禁忌とされていた歴史が明かされ、主人公は先人達が犯した「分断と排除」という大きな過ちに気付くといった内容。2008年に出版された古いSFですが、まるでインターネットという「超能力」を手にした私達が、過った使い方で他者を攻撃する現在の状況を予言しているかのようです。

（アニメ化もされたようです。私はまだ見てませんが、そのうち見ようかと）

私も、散らかった部屋を一瞬で片付けるとか、手から炎を出して暖をとるとか、空中を自在に飛び回るとか、そういった超能力を使えたら良いなーと空想することはありますが、誰もが超能力を使える世界では他人から理不尽に超能力の攻撃を受ける可能性もある訳で、それはそれで怖いです。何が言いたいのかというと、力（物理的なものに限らず）は、それが強大であればあるほど慎重に扱う必要があり、独りよがりの正義感による力の行使は危ないということです。デスノートを想像するとわかりやすいですね。

かつて極真空手の創始者である大山倍達氏は「力なき正義は無力、正義なき力は暴力」と仰っていました。力と正義は両輪であり、片方を欠くと成り立たない関係という訳です。ここで問題は「正義」の方。それは誰にとっての正義なのか。本当にそれが正義なのか。特に力を持つ者こそ常に俯瞰的に物事を見て、冷静に正義を遂行しなくてはいけないと改めて思った次第です。ちなみに今私が最も欲しい力は瞬間痩せ…ではなく瞬間移動です。はい、SFの読み過ぎです。ともあれ、誰もが平穏に暮らせる「新世界」の実現を願って。